

## 9 / 13 新規採用養護教諭研修講座第6日を実施しました



▲講義・演習「児童生徒のスポーツ傷害」

国立大学法人筑波大学  
向井 直樹 准教授

9月13日(木)、新規採用養護教諭研修講座第6日を実施しました。講義「がん教育」では、教育庁学校教育部保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当の吉野恵美子指導主事から、国や県の取組、具体的な内容や指導上の留意点について、詳しくお話をいただきました。講義・演習「スポーツ傷害」では、国立大学法人筑波大学の向井直樹准教授から、適切な処置や対応等について、事例をもとに丁寧に教えていただきました。講義・演習「アレルギーへの対応」では、東海村立病院の松井猛彦医師から、学校生活とアレルギーを関連させた内容について、具体的に分かりやすく教えていただきました。講義「特別な教育的ニーズのある児童生徒の理解と支援」では、特別支援教育課の石川富子主査から、特別支援教育における養護教諭の役割はもちろん、特別な教育的ニーズのある児童生徒との関わりについて、分かりやすい講義が行われました。



▲講義「がん教育」

教育庁学校教育部保健体育課健康教育推進室  
学校保健・安全担当 吉野 恵美子 指導主事

子どもたちの未来のために



▲講義「特別な教育的ニーズのある児童生徒の理解と支援」

県教育研修センター 石川 富子 主査



▲演習  
「アレルギーへの対応」の様子



▲講義「アレルギーへの対応」  
東海村立病院 松井 猛彦 医師

＜受講者の感想より＞

- 演習のなかで、実際のアドレナリン自己注射を座布団に打つ体験ができたので、いざという時の自信になりました。
- 外傷の処置からアレルギーへの対応等、現場ですぐに活用できる内容で、大変勉強になりました。
- 研修を通して、緊急時の対応や管理体制等について、再確認の必要性に気付くことができました。